

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2020年10月18日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



京都市議会徹底論戦！

代表質問で「休業支援延長」「市民生活応援」を訴え



9月市会が始まっています。西野さち子市議は、日本共産党市会議員団を代表して、市長に質問しました。まず、コロナの感染防止と格差の是正、ケアに手厚い行政を求めるとして、経済の実態把握、中小企業・小規模事業者への支援強化、労働者の賃金を保証する仕組みづくりについて、国府市の支援制度が適用されていない事業所への市の直接支援と、解雇や雇止めが増大していますから、コロナ特例の休業支援の延長を求めました。2つ目には市民のくらしを応援すべき時に市長は「行財政審議会」で市民サービスの切り捨てを議論しています。敬老乗車証、児童う歯対策、国保会計への繰り入れ等などの削減を議論しています。その一方で大型公共事業の見直しは議論になっていません。このような「審議会」は中止すべきと質しました。また、気候危機のなか、再生可能エネルギー100%を実現する道筋を目指すことや、ジェンダー平等の社会について、同性婚を認める法改正などを国に求めることや市営住宅を増やすこと等について質問しました。

9月30日（水）京都市議会で「代表質問」に立ち、中小・小規模業者への支援と「行財政審議会」での市民サービス切り捨てやめよと訴えました

議員日誌

高齢者インフルエンザ予防接種を公費負担とするよう申し入れ

申し入れの全文です。「京都市が広報した令和2年度の高齢者インフルエンザ予防接種について、従来、区役所、支所で行っていた申請手続きが郵送での申請に限るとされ、市民より困惑の声が多数寄せられています。

いま、新型コロナウイルス感染は収束の目途がたたず、さらなる感染拡大を警戒しなければならない状況にあります。今後、インフルエンザと新型コロナウイルス感染が混在する可能性がある中で、希望する高齢者全員を対象としたインフルエンザ予防接種を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大も防止することが重要となります。

よって、高齢者のインフルエンザ予防接種費用を全額公費負担とし、病院の窓口での簡素な手続きで予防接種を受けることができるようにすることを求めます。」



10月6日、議会終了後に市会議員団は、日本共産党ジェンダー平等委員会や市民の皆さんとともに三条河原町でアピールをしました。「女性は何度でもウソをつけた」と発言した杉田議員は自民党の比例トップに位置づけられて当選した人ですから、自民党の責任は重大です。自民党として処分すると同時に辞任すべきです。議員の資格はありません。

杉田水脈（自民党衆議院議員）に議員の資格なし

困ったときは…
日本共産党の生活相談所
へ

毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!

621-6717